

## 加ペレーマウンテン

# 16年末から希土類生産

## 初年度は5000トン規模

加資源開発会社のペレーマウンテンリソースは、同国オンタリオ州にある希土類(レアアース)のエコリッジ鉱山を2016年末に本格操業させる計画。15年半ばごろまでに経済性調査(FS)を完了させ工場建設に移りたい考えだ。年間を通じて本格生産ができるようになる17年は年5750トンの希土類生産(酸化物)を見込み、最初の10年間の生産量は4万4000ト規模になる。



シェフスキー社長

来日中のアル・シェフスキー社長が5日、都内で産業新聞社のイ

## 酸化物、日本へも販売

インタビュに応じた。オンタリオ州のエリコットレイクにあるエコリッジ鉱山は、カナダで希土類酸化物の商業生産に成功した唯一の

鉱山。蛍光体やレーザーなどに使うイットリウムなどの重希土を多く含む。シェフスキー社長はインタビュの中で、

「約20年前までは世界のイットリウムの35%を生産する時期もあった」と説明した上で、「高速道路や鉄道、電力、空港、水深が深い

港などのインフラも整備されている」点を強調した。

世界中で希土類の資源開発が行われ供給過剰リスクがあることについては、「軽希土は供給過剰になるが、ネオジム、ジスプロシウム、イットリウム、テルビウム、ユーロピウムなどのクリティカルなレアアースは供給不足が続く」との認識を示した。

した後の酸化物として販売することを考えている」と説明。日本のエンドユーザーに対しては、専門商社のマテリアル・トレイディング・カンパニー(東京都)を通じて販売する考えを示した。

ペレーマウンテン社は、米カリフォルニア州のマウンテン・パス鉱山の権益も取得している。同鉱山は米モリコープ社が開発中のマウンテン・パス鉱山に隣接。もともとの権益保有者も同じだった。開発段階になればモリコープの設備を活用することもできるが、「現段階でそういう交渉はしていない」と語った。しかし一方で「協力することはお互いに良いことだ」とも述べており、今後の協力関係に含みを持たせた。